

0でない複素数 $z = x + yi$ について、次の問いに答えよ。ここで、 x は z の実部、 y は z の虚部であり、 i は虚数単位である。

- (1) $z + \frac{4}{z}$ の実部と虚部を x, y を用いて表せ。
- (2) x が 0 以外の実数全体を動くとき、 $x + \frac{4}{x}$ がとりうる値の範囲を求めよ。
- (3) $z + \frac{4}{z}$ が実数で、さらに不等式 $2 \leq z + \frac{4}{z} \leq 5$ を満たすとき、点 (x, y) が存在する範囲を xy 座標平面上に図示せよ。

(18 関西大 シス理工・環境都市・化生工 3)

【答】

- (1) 実部は $\frac{x(x^2 + y^2 + 4)}{x^2 + y^2}$ 、虚部は $\frac{y(x^2 + y^2 - 4)}{x^2 + y^2}$
- (2) $x + \frac{4}{x} \leq -4, 4 \leq x + \frac{4}{x}$
- (3) 略

【解答】

- (1) $z = x + yi$ (x, y は実数) のとき

$$\begin{aligned} z + \frac{4}{z} &= x + yi + \frac{4}{x + yi} \\ &= x + yi + \frac{4(x - yi)}{x^2 + y^2} \\ &= \frac{x(x^2 + y^2 + 4) + y(x^2 + y^2 - 4)i}{x^2 + y^2} \end{aligned}$$

である。よって、 $z + \frac{4}{z}$ の

$$\text{実部は } \frac{x(x^2 + y^2 + 4)}{x^2 + y^2}, \quad \text{虚部は } \frac{y(x^2 + y^2 - 4)}{x^2 + y^2} \quad \dots\dots(\text{答})$$

である。

- (2) $f(x) = x + \frac{4}{x}$ ($x \neq 0$) とおく。 $f(x)$ は奇関数であるから、グラフは原点に関して対称である。 $x > 0$ の範囲で考える。

$$f'(x) = 1 - \frac{4}{x^2} = \frac{(x+2)(x-2)}{x^2}$$

$f(x)$ の増減は右表となる。さらに

$$\lim_{x \rightarrow (+0)} f(x) = \infty, \quad \lim_{x \rightarrow \infty} f(x) = \infty$$

であり、 $x < 0$ の範囲もあわせて $y = f(x)$ を図示すると右図となる。以上より $f(x)$ のとりうる値の範囲は

$$f(x) \leq -4, 4 \leq f(x) \quad \dots\dots(\text{答})$$

である。

- $Y = x + \frac{4}{x}$ ($x \neq 0$) $\dots\dots$ ㉞ とおく。

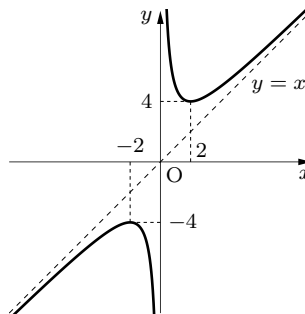
$$\text{㉞} \iff x^2 - Yx + 4 = 0 \quad \dots\dots \text{㉞}'$$

Y のとりうる値の範囲は、㉞' を満たす実数 x が存在するような Y の集合である。方程式 ㉞' が実数解をもつ条件は (判別式) ≥ 0 であり

$$Y^2 - 4 \cdot 4 \geq 0 \quad \therefore Y \leq -4, 4 \leq Y$$

である。

x	(0)	\dots	2	\dots
$f'(x)$		-	0	+
$f(x)$		\searrow	4	\nearrow



(3) $z + \frac{4}{z}$ が実数であるから, (1) より

$$\frac{y(x^2 + y^2 - 4)}{x^2 + y^2} = 0 \quad \dots\dots \textcircled{1}$$

である. ①を変形すると

$$\begin{aligned} \textcircled{1} &\iff \begin{cases} y(x^2 + y^2 - 4) = 0 \\ x^2 + y^2 \neq 0 \end{cases} \\ &\iff \begin{cases} y = 0 \\ x \neq 0 \end{cases} \quad \text{または} \quad x^2 + y^2 = 4 \end{aligned}$$

である. ①の下では $z + \frac{4}{z} = \frac{x(x^2 + y^2 + 4)}{x^2 + y^2}$ であるから

$$2 \leq z + \frac{4}{z} \leq 5 \iff 2 \leq \frac{x(x^2 + y^2 + 4)}{x^2 + y^2} \leq 5 \quad \dots\dots \textcircled{2}$$

である. 「① かつ ②」を満たす x, y の条件を求める.

(i) 「 $y = 0$ かつ $x \neq 0$ 」のとき

$$\frac{x(x^2 + y^2 + 4)}{x^2 + y^2} = \frac{x(x^2 + 0 + 4)}{x^2 + 0} = x + \frac{4}{x}$$

であるから

$$\textcircled{2} \iff 2 \leq x + \frac{4}{x} \leq 5 \iff 4 \leq x + \frac{4}{x} \leq 5 \quad (\because (2))$$

$$\iff \begin{cases} x > 0 \\ x + \frac{4}{x} \leq 5 \end{cases} \iff \begin{cases} x > 0 \\ x^2 - 5x + 4 \leq 0 \end{cases}$$

$$\iff \begin{cases} x > 0 \\ (x-1)(x-4) \leq 0 \end{cases}$$

$$\therefore 1 \leq x \leq 4$$

である. (i) の範囲とあわせると

$$\begin{cases} y = 0 \\ 1 \leq x \leq 4 \end{cases}$$

となる.

(ii) $x^2 + y^2 = 4$ のとき

$$\frac{x(x^2 + y^2 + 4)}{x^2 + y^2} = \frac{x(4 + 4)}{4} = 2x$$

であるから

$$\textcircled{2} \iff 2 \leq 2x \leq 5$$

$$\therefore 1 \leq x \leq \frac{5}{2}$$

である. (ii) の範囲とあわせると

$$\begin{cases} x^2 + y^2 = 4 \\ 1 \leq x \leq 2 \end{cases}$$

となる.

(i), (ii) より, 点 (x, y) の満たす条件は

$$\begin{cases} y = 0 \\ 1 \leq x \leq 4 \end{cases} \quad \text{または} \quad \begin{cases} x^2 + y^2 = 4 \\ 1 \leq x \leq 2 \end{cases}$$

となる.

よって, 点 (x, y) の存在範囲は右図の太線部分となる.

